

いしかわ版道徳教材

「ふるさとがはぐくむ どうとくいしかわ」

(小学校低学年)

【指導案】

1 A案

教材名：たけしの「げんきあっぷカード」

主題名：規則正しい生活

内容項目：A (3) 節度, 節制

- 1 **ねらい** 健康に気を付け、進んで自分の生活を見直し、規則正しい生活をしようとする心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをG Tと示す）

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

- ◇ 「早寝・早起き・朝ごはん」の観点から、家での生活の様子を振り返る。
- ① 今から、元気調べをします。自分に当てはまるものに手を挙げてください。
- ◇ 教材を読んで話し合う。
- ② どうしてたけしは元気いっぱいなのですか。
- ・お母さんと決めた朝の時間に起きられたから
 - ・「げんきあっぷカード」に○をつけられたから
 - ・朝ご飯も食べたから
- ③ 授業に集中できないたけしはどんなことを思ったのですか。
- ・体がだるいなあ
 - ・お腹がすいた
 - ・ねむいよ
 - ・テレビをおそくまで見なければよかった
- ④ 自分のカードをじっと見つめながら、たけしはどんなことを考えているのでしょうか。
- ・かずやくんは、○ばかりでうらやましい
 - ・ぼくは、○が少ない
 - ・○がつくようにするぞ
 - ・これからは早く寝るようにしよう
 - ・早起きできるようにするぞ
- ◇ 自分の生活を振り返る。
- ⑤ みんなも、「げんきあっぷ」のために気をつけていることはありますか。
- ・早く寝るようにしている
 - ・テレビを見る時間を決めている
 - ・朝ご飯は、いつも食べているよ
 - ・体を動かして遊んでいるよ
- ◇ 「げんきあっぷ」のための話をG T（養護教諭）から聞き、自分の生活を振り返る。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・導入では、「げんきいっぱい」（P1～2）を利用し、テンポよく進める。
- ・②または③の発問で、たけしの様子を対比させ、その原因を聞きながら、内省していくたけしに共感させる。
- ・学校で基本的な生活習慣の確立に向けた取組（「げんきあっぷカード」[P6]の配布については平成25年度で終了）を実施した後に行うと、児童の体験を生かした発話が生まれ、自分事として興味・関心をもって考えていくことができる。1年生の年度始めに行う場合は、幼児用の「げんきいっぱいカード」の取組を想起させるとよい。
- ・「わたしたちの道徳」（P20～21）を終末や授業後に紹介することもできる。

4 参考資料

- ・「げんきいっぱいカード」（石川県教育委員会生涯学習課「心の教育推進協議会事務局」）
<http://www.pref.ishikawa.jp/kyoiku/syougai/kyogikai/>

1 B案

教材名：たけしの「げんきアップカード」

主題名：規則正しい生活

内容項目：A (3) 節度, 節制

- 1 **ねらい** 健康に気を付け、進んで自分の生活を見直し、規則正しい生活をしようとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 気持ちのよい一日をスタートさせるためにやっていることを発表し合う。

- ① 気持ちのよい一日をスタートさせるためにやっていることは何ですか。
・早寝 ・早起き ・朝ごはん ・顔をあらう ・歯磨き ・朝のあいさつ

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② たけしの「すごいところ」と「ちょっと残念なところ」はどこですか。

(すごいところ)

- ・約束した6時に起きているところ
- ・反省しているところ
- ・また、早起きをしたところ

(ちょっと残念なところ)

- ・寝坊して、朝ごはんを食べていないところ
- ・自分で決めたことが続かなかったところ
- ・学校で授業に集中できなかったところ

- ③ どうしてたけしは、また早起きするようになったのでしょうか。

- ・全部〇がついて、元気になりたいから
- ・かずや君のように早起きできる自分になりたいから
- ・授業に集中できるようにしたいから
- ・早起きすると、ご飯が食べられるから

◇ 自分の生活を振り返る。

- ④ たけしのように生活を見直して、気持ちのよい一日を過ごすようにしたことはありますか。

◇ 健康の大切さと規則正しい生活との関係について教師の説話（保護者からの手紙でもよい）を聞く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・導入では、「わたしたちの道徳」(P10～11)の「きそく正しく気持ちのよい毎日」を活用することも考えられる。
- ・②で出された意見を踏まえながら、たけしの再チャレンジに着目させ、規則正しく生活しようとしたたけしのよさについて触れる。そして④で、たけしのように生活を見直して、気持ちのよい一日を過ごすようにしたことがあるか問うことで、自己を見つめることができるようにする。

2 A案

資料名：おにいちゃんのじてんしゃ

主題名：物を大切に作る心

内容項目：A (3) 節度, 節制

- 1 **ねらい** 物は多くの人の努力と勤労によって作られていることに気づき、大事に使おうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 長い間使われている古い物を見て感想を發表する。

① 今も使っているこの〇〇を見て、どう思いますか。

- ・古くさいなあ
- ・新しい物を買えばいいのに

◇ 教材を読んで、話し合う。

② 「誕生日に自転車が欲しい。」と言った時、たつきはどんなことを思い描いていたでしょう。

- ・自転車に乗って友達と遊びたい
- ・新品の自転車は、気持ちがいいだろうな
- ・最近の自転車は、デザインがかっこいいんだ、じまんしたい

③ お兄ちゃんの自転車に乗ろうと決めたのは、どうしてでしょう。

- ・お兄ちゃんの自転車はまだ乗れそうだから 捨てるのはもったいないから
- ・お兄ちゃんが大切にしていた物だから、ぼくも引き続き使いたいから

◇ 物が出来上がる過程について書かれた本を読み感想を話し合う。

- ・一つの品物が完成するまでにたくさんの人の手と時間がかかっているんだなあ

◇ 自分の生活を振り返って考える。

④ 自分の使っている物について、使うとき気を付けたいことはどんなことですか。
(色鉛筆、絵の具、筆箱、下敷き、ランドセルなど)

- ・乱暴に扱わない
- ・手入れをして使う
- ・後片付けを丁寧にする
- ・すぐに新しい物を買わずに長く使う

3 指導上の留意点及び工夫

- ・導入で教師が提示する品物が、教師本人が長年使用している物や何人かで継承して使われている物であれば、効果的である。
- ・②で古い物より新しい物を使いたいという思いに共感させた上で、物が出来上がるまでの人々の努力と費やす時間を考えさせたい。
- ・物が出来上がる過程について書かれた本は、児童が普段使っている身近な物を題材にしたものがよい。

例：いっぽんの鉛筆のむこうに（谷川俊太郎：作）

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校低学年）「2 おにいちゃんの じてんしゃ」

2 B案

資料名：おにいちゃんのじてんしゃ

主題名：物を大切にすること

内容項目：A (3) 節度, 節制

- 1 **ねらい** 物は多くの人の努力と勤労によって作られていることに気づき、大事に使おうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 身のまわりにある、まだ使えそうなのに使っていない物について考える。

① 使えそうなのに使っていない物がありますか。

- ・おもちゃ、洋服
- ・筆箱、下敷き など

◇ 教材を読んで、話し合う。

② この「親子の手紙」を読んで、どんなことを思いましたか。

- ・どうしてたつきは新しい自転車を買ってもらわなかったのかな
- ・お兄ちゃんの自転車に乗ると言って、えらいな

③ おかあさんは、どんなことがうれしかったのでしょうか。

- ・お兄ちゃんの自転車を大切に使うと言ったこと
- ・お兄ちゃんの自転車が長く使ってもらえること

◇ 映像資料集2のイラストを見る。

◇ 自分の生活を振り返って考える。

④ これから物を使うときに、どんなことを大切にしたいですか。

- ・乱暴に扱わない
- ・手入れをして使う
- ・後片付けを丁寧にする
- ・すぐに新しい物を買わずに修理して長く使う

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①で、実物や写真の提示があると自分の身近な物を想起しやすくなる。
- ・②で、手紙（拡大したもの）を録音した音声とともに板書提示すると親子のやり取りがイメージしやすくなる。
- ・③で、「新しい自転車はほしくなくなったのか」という深める発問をし、欲しいけれどまだ使える物があるからもったいないという気持ちを引き出したい。
- ・映像資料のイラストで、修理をして使うイメージをもたせるとよい。
- ・映像資料を見たあとで「（修理したりして）長く使うとどんないいことがあるかな」という発問をし、大切に使うよさを考えさせてもよい。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校低学年）「2 おにいちゃんの じてんしゃ」

3 A案

資料名：松井せんしゅの手	
主題名：しっかり最後までやり抜く心	内容項目：A (5) 希望と勇気, 努力と強い意志

1 ねらい 自分のやるべきことを、しっかりと行おうとする心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）
<p>◇ 自分がやるべき勉強や仕事について、話し合う。</p> <p>① 自分がやらなければいけないことは、どんなことですか。</p> <p>・ 毎日の宿題 ・ 当番や係の仕事 ・ 家の仕事</p>
<p>◇ 映像資料（松井選手の活躍）を見て話し合う。</p> <p>② 松井選手は子供の時どんなことを思いながら、決めた二つのことをしていたでしょう。</p> <p>・ 毎日続けよう ・ つらいからやめたいな ・ 自分が決めたことだから頑張ろう ・ たまに休んでもいいかな ・ 強い野球選手になりたい</p> <p>③ 「松井せんしゅみたいになりたい」というぼくは、松井選手のどんなところがいいと思っているのでしょうか。</p> <p>・ やると決めたことを続けて頑張っているところ</p>
<p>◇ 自分の生活を振り返る。</p> <p>④ 松井選手のように、やるべきことを続けて頑張っていることはどんなことですか</p> <p>・ 家の仕事の風呂掃除をいつもしている ・ 宿題は毎日すぐに行っている</p>
<p>◇ 映像を見て、自分の努力に気付かせる。</p> <p>・ 係活動を頑張ってやり続けている ・ 花壇の水やりを欠かさずしている</p>

3 指導上の留意点及び工夫

- ・ 自分のやるべき勉強や仕事について教師が整理しておき、導入で児童に考えさせる。また、日常の様子を記録（写真、ビデオなど）しておき、終末で提示することで努力した自分に気付かせ感想を話し合う。
- ・ 自分の生活の振り返りで、「わたしたちの道徳」P22～25を活用し、書く活動を取り入れてもよい。
- ・ 終末でGTとして校長先生に学校生活でのやるべき仕事の成長した様子を話してもらう方法もある。

4 参考資料

- ・ 映像資料集2（小学校低学年）「3 松井せんしゅの手」

4 A案

教材名：ししまい

主題名：あきらめない心

内容項目：A (5) 希望と勇気, 努力と強い意志

1 **ねらい** 自分のやるべき勉強や仕事は、しっかり行おうとする心情を高める。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 問題意識を持つ。

- ① 今までに、やろうと思っても途中であきらめてしまったことはありませんか。
・習い事（ピアノ、そろばん等） ・宿題 ・逆上がり

◇ 教材を読んで話し合う。（「ししまい」の映像資料を視聴してから教材を読む）

- ② なみだぐんで家に向けこんだ「ぼく」は、どんな気持ちですか。
・一生懸命練習しているのに、うまくできなくて悔しい
・悲しい、もうやめてしまいたい
・こんなに難しいなんて思わなかった
- ③ 「ぼく」はどうして練習を続けたのでしょうか。
・お母さんが励ましてくれて、その通りだと思ったから
・楽しみにしていたししまいだから、できるまでがんばりたいと思ったから
・みんなもがんばっているから、自分だって最後までがんばりたい
- ④ お兄さんの言葉を聞いて、ぼくはどんな気持ちになりましたか。
・がんばって良かった ・あきらめないで続けて良かった
・本番でもがんばるぞ

◇ 自分との関わりで考える。

- ⑤ みなさんは、どんなことをがんばっていますか。

◇ 教師の説話を聞く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・地域でししまいや棒振りなどがある場合は、道徳科と関連させた指導計画を立てると効果である。
- ・②の発問の前に、簡単に資料のあらすじや、最初のやる気満々の「ぼく」の気持ちを押さえておくとうい。
- ・展開の後段で「私たちの道徳」の挿絵を手掛かりに、難しいけれどがんばっていることやあきらめなかったから出来るようになったことを考え、自己を肯定的に見つめる。
- ・教師の説話は、自分自身が励まされてがんばれたことや、あきらめそうになったけれどあきらめずに最後までやり遂げたときの達成感や成就感、自己肯定感に関する話を語るとよい。
- ・⑤では「わたしたちの道徳」P22・23を読んで、振り返らせるとよい。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「4 ししまい」
- ・WEBで「石川県 獅子舞」で検索すると、県内の獅子舞等の情報が得られる。

4 B案

教材名：ししまい

主題名：あきらめない心

内容項目：A (5) 希望と勇気，努力と強い意志

1 **ねらい** 自分のやるべき勉強や仕事は、しっかり行おうとする心情を高める。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 教材への興味関心を高める。

- ① 「ししまい」を知っている人や、したりしたことのある人はいませんか。
（「ししまい」の映像資料を視聴し、「ししまい」について話をする。）
- ・知らないよ
 - ・テレビや祭りで見たことがあるよ
 - ・ししの中に何人か人が入って、動いているよ 楽しそうだ

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 夏休みに練習が始まった時、「ぼく」はどんな気持ちでしたか。
- ・一生懸命やっているのに、うまくできなくて悔しい
 - ・悲しい、もうやめてしまいたい
 - ・こんなに難しいなんて思わなかった
- ③ 九月になったときの「ぼく」は、どんな気持ちで練習をしていますか。
- ・あきらめずにがんばっている
 - ・足がそろって、いい気持ちで練習している
- ④ どうして「ぼく」の気持ちは変わったのでしょうか。
- ・お母さんが励ましてくれたから
 - ・お母さんの言葉から、はじめから上手じゃなくても当たり前だと気付いて、泣かずに練習をがんばろうと思えるようになったから
 - ・あきらめずに練習して、上手になれたから
 - ・本番で、いいおどりができそうなくらい上達したから
 - ・友達と動きを合わせてかっこいいししまいをしたいと思って、がんばり続けたおかげだ

◇ 自分との関わりで考える。

- ⑤ 「ぼく」のように、難しいけれどがんばって良かった、と思った経験はありますか。

◇ 児童が頑張っている、係の仕事や学校行事等の写真・映像等を見せる。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・地域でししまいや棒振りなどがある場合は、その時期と授業とを関連させた指導計画を立てると効果的である。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「4 ししまい」
- ・WEBで「石川県 獅子舞」で検索すると、県内の獅子舞等の情報が得られる。

5 A案

教材名：才田のわんかしきつね

主題名：正直な心で

内容項目：A (2) 正直, 誠実

- 1 **ねらい** うそをついたりごまかしたりしないで、素直に伸び伸びと生活しようとする心情を高める。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 問題意識を持つ。

- ① うそをついたり、ごまかしたりしたことはありませんか。
- ・友だちにいやなことを言ったけど、「言っていないよ」とうそをついた
 - ・ものを壊してしまったときに、だまってそのままにしてしまったよ

◇ 教材を読んで、話し合う。（映像資料を視聴しながら、教師が読み聞かせる）

- ② 一つの椀にひびが入ってしまったとき、おじいさんはどんなことを考えていたでしょう。
- 正直に言おう…悪いことをしたのだから、きちんとあやまろう
怒られるかもしれないけど、ちゃんと言わないといけない
 - 黙っていよう…十個もある中の一つくらい、いいだろう、気づかれないだろう
怒らせたなら怖い、他のみんなにも知られたくないな
割れてしまったわけではないから、このままで大丈夫だ
- ③ 才田のきつねがだれにもお椀を貸してくれなくなったとき、おじいさんはどんな気持ちでいるでしょう。
- ・もやもやとして、いやな気持ち
 - ・正直に言ってあやまればよかった、いまからでもあやまろう
 - ・大変なことをしてしまった、これから自分だけでなくみんなが困ってしまう
 - ・助けてもらったのに、いやな思いをさせてしまって申しわけない

◇ 自分との関わりで考える。

- ④ 正直に言って良かったこと、すっきりしたことはありませんか。
- ・借りていた本を破ってしまったとき、きちんとあやまったら、許してもらえて良かった

◇ 教師の説話を聞く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・導入では、誰でもうそをついたりつきそうになったりすることがあることを知らせ、自己を振り返るように促す。
- ・②では、役割演技や心情円盤等の使用、板書の構造化からおじいさんの迷いに気付かせ、多様な意見が出るようにするとよい。
- ・③では、「きつねはどう思ったのか」など視点を変える問い返しをすることで、正直に振る舞うことは、自分にとっても相手にとっても大事なことを考えさせるとよい。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校低学年）「5 才田の わんかしきつね」
- ・導入で「こころのノート 小学校1・2年」（WEB）「うそなんか つくもんか」P28「ないしょのはこ」を利用してもよい。

5 B案

教材名：才田のわんかしきつね

主題名：正直な心で

内容項目：A (2) 正直，誠実

- 1 **ねらい** うそをついたりごまかしたりしないで、素直に伸び伸びと生活しようとする心情を高める。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 問題意識を持つ。

- ① 友達とふざけていたひょうしに、ほかの友達にぶつかり文句を言われました。あなたならどうしますか。
- ・自分がわざとぶつかったのではないから、悪くない
 - ・悪気はなかったけど、ぶつかったのは悪いからあやまるよ

◇ 教材を読んで、話し合う。（映像資料を視聴しながら、教師が読み聞かせる）

- ② 才田のきつねがお椀を貸してくれたとき、おじいさんはどんな気持ちでしょう。
- ・助かる、ありがたいな
 - ・才田のきつねのおかげで、法事でごちそうが出せるからよかった
- ③ われたお椀をそのまま返したおじいさんをどう思いますか。
- ・せっかく才田のきつねが貸してくれたのにひどい
 - ・ちゃんとあやまらないとダメだ
 - ・今までの村人達は、ていねいに洗って返していたのに、なんてひどいことをするんだ
 - ・才田のきつねは、悲しんだり、残念がったりするんじゃないかなあ

◇ 自分との関わりで考える。

- ④ 正直に言って良かったこと、すっきりしたことはありませんか。
- ・借りていた本を破ってしまったとき、きちんとあやまったら、許してもらえて良かった
 - ・家族との約束を破ってしまったとき、しかられたけど、自分から言えたからすっきりした

◇ 「わたしたちの道徳」P44～45「すなおにのびのびと」を読み聞かせる。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・導入では、悪気がなくても失敗したり迷惑をかけてしまったりすることがあることを思い起こし、自己を振り返るように促す。
- ・③では、「きつねはどう思ったのか」など視点を変える問い返しをすることで、正直に振る舞うことは、自分にとっても相手にとっても大事なことであることを考えさせるとよい。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校低学年）「5 才田の わんかしきつね」
- ・導入で「こころのノート 小学校1・2年」（WEB）「うそなんか つくもんか」P28「ないしょのはこ」を利用してもよい。

6 A案

教材名：ぼくたちかたたたき隊

主題名：温かい心、役に立つ喜び

内容項目：B (6) 親切, 思いやり

1 **ねらい** 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることで自分も喜びを感じ、自分のできることを進んで行おうとする態度を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 教材への興味関心を高める。

① お年寄りに何か教えてもらったり、してあげたりしたことはありますか。

- ・おばあちゃんに、お手玉を教えてもらったことがあるよ
- ・おじいちゃんの肩をもんであげたことがあるよ

② 「デイサービスセンター」って知っていますか。（映像資料を視聴する。）

- ・おじいちゃんやおばあちゃんが気持ちよく過ごせるようにお世話をする場所だ

◇ 教材を読んで話し合う。

③ 「かたをたたかせてください」と小さな声で言ったとき、ぼくはどんな気持ちだったでしょう。

- ・初めてだからドキドキする
- ・心配だ
- ・ちゃんとできるかな

④ 痛くならないように肩をたたいているとき、ぼくはどんな気持ちでしょう。

（映像資料を視聴する。）

- ・気持ちがいいようにたたこう
- ・喜んでくれているかな
- ・どこが凝っているかな

⑤ 教室にもどるとき、涙をうかべているおばあちゃんの方を何度もふり返った「ぼく」はどんな気持ちだったでしょう。

- ・喜んでもらえて嬉しい
- ・もっと何かしてあげたくなかったよ
- ・泣くほど喜んでもらったのが心に残ったから、来てよかったと思った
- ・ずっと手を振りながら見送ってくれたので、また来たいと思った

◇ 自分との関わりで考える。

⑥ 「ぼく」のように、温かい心になったことはありますか。

- ・遠くに住んでいるおばあちゃんに電話をしたらとっても喜んでくれたから、またかけたいと思った
- ・肩もみや腰もみをしたら、気持ちいいよって褒めてくれて、嬉しくなった

◇ 教師の説話を聞く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・④で、映像資料を視聴する際に、お年寄りの様子に着目しながら親切にされる側の気持ちを考えることで、役に立つ喜びや、「また来るね」と言った「ぼく」の気持ちを実感させる。
- ・⑤で、場面絵の吹き出しに「ぼく」の気持ちを書き、それをもとにして人の役に立つ喜びを伝え合う。
- ・⑤で、視点を変えて、涙を流しているおばあちゃんの気持ちや涙の理由を問う補助発問を設定して、親切にする意義について考えを深めてもよい。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校低学年）「6 ぼくたち かたたたき隊」

6 B案

教材名：ぼくたちかたたたき隊

主題名：温かい心、役に立つ喜び

内容項目：B (6) 親切、思いやり

- 1 **ねらい** 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることで自分も喜びを感じ、自分のできることを進んで行おうとする態度を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 問題意識を持つ。

- ① 「温かい心」とはどのような心でしょうか。「わたしたちの道徳」P 66～67 参照
・やさしい心だよ ・親切な心かな ・嬉しい心だよ

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② デイサービスセンターで「かたをたたかせてください」と小さな声で言ったときぼくはどんな気持ちだったでしょう。（映像資料を視聴する。）

- ・初めてだからドキドキする ・ちゃんと喜んでもらえるようにできるかな
- ・初めて会うおじいちゃんやおばあちゃんと、ちゃんと話せるかな

- ③ 心が温かくなったところがありますか、それはどんなところでしょう。

- ・「ぼく」が相手のことを考えて、気持ちがよいように肩たたきしているところが、親切だなあって心が温かくなった
- ・「また来るね」と握手したところがじいんとしたよ

- ・何度もふり返りながら教室に戻っていくとき、おばあちゃんも泣いていて、それだけ、肩たたきがうれしかったのだからあって思ったよ

- ④ 心が温かくなるときって、どうしたときでしょう。

- ・相手の気持ちや喜ぶこと考えたら、心が温かくなる
- ・相手が喜ぶと思うことをしたら、相手も自分も嬉しくなって、心が温まるよ
- ・相手の心が温かくなったら、自分の心も温かくなりそうだよ

◇ 自分との関わりで考える。

- ⑤ 「ぼく」のように、相手のことを思って親切にしたことはありますか。

- ・遠くに住んでいるおばあちゃんに電話をしたらとっても喜んでくれたから、またかきたいと思った
- ・公園で小さい子と遊んであげたら、その子のお母さんにもとっても喜ばれた

◇ 感謝の手紙を聞く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・②で映像資料の、デイサービスセンターの部分を視聴して様子をつかませて、「ぼく」の緊張や心配な気持ちに共感できるようにする。
- ・③では、心が温かくなる理由までしっかりと話し合うことで、相手のことを思って親切にしたことが相手の喜びになり、温かい心になっていくことを実感させる。
- ・④で相手の喜びが温かさにつながっていること考えさせる。
- ・2年生なら1年生の担任、1年生なら通っていた幼稚園・保育所等の先生に、当該学年の児童に親切にしてもらった感謝の手紙を書いてもらう。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校低学年）「6 ぼくたち かたたたき隊」

7 A案

資料名：雪道

主題名：あいさつってきもちがいい

内容項目：B (8) 礼儀

- 1 **ねらい** 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛け、明るく接しようとする態度を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 「わたしたちの道徳」P54～55を見て、日常生活で行っている挨拶を想起する。

① 毎日の生活にはどのような挨拶があるか、絵を見て考えましょう。

- ・ご飯を食べるときだから「いただきます」だね
- ・学校から帰ったら「ただいま」だよ

◇ 映像資料を見せ、雪道の様子をつかませてから、教材を読む。

② 雪道でお姉ちゃんが前から歩いてくるのを見た時、えりはどんなことを考えたでしょう。

- ・このままいくと通れないよ どうしよう
- ・道をよけようかな

③ えりは「ありがとう」と言っておじぎしたとき、どんな気持ちだったでしょう。

- ・ドキドキしたけれど、言えてよかった
- ・ありがとうって言うのがはずかしかったけれど、がんばったよ
- ・ありがとうが言えてすっきりした

④ お姉ちゃんに「どういたしまして。気をつけて行ってね。」と言われたとき、どんな気持ちだったでしょう。

- ・お姉ちゃんにやさしく言われてうれしくなった
- ・がんばって「ありがとう」と言ってよかったと思った

◇ 自分の生活を振り返る。

⑤ 自分から挨拶ができたとき、どんな気持ちになりましたか。また、挨拶をされたとき、どんな気持ちになりましたか。

- ・朝、玄関で先生に「おはようございます」と言ったらいい気持ちになった
- ・掃除の時間、6年生のお姉ちゃんに手伝ってもらったから「ありがとう」って言ったら、「どういたしまして」と言われてうれしかった

◇ 教師の説話を聞く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・範読の時、映像資料の映像を静止画像として活用することができる。
- ・③でお礼を言う役割演技を取り入れ、ありがとうを言えた時の気持ち、返事が返ってきた時の気持ちについて考えるのもよい。
- ・「わたしたちの道徳」P58を活用し、児童の挨拶の様子について、保護者に感想を書いてもらい、後日紹介することもできる。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校低学年）「7 雪道」

7 B案

資料名：雪道

主題名：あいさつってきもちがいい

内容項目：B (8) 礼儀

1 ねらい 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛け、明るく接しようとする態度を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 毎日のあいさつについて発表し合う。

① 毎日、誰にどんなあいさつをしていますか。

- ・朝起きたら、家族に「おはよう」
- ・学校に行く時「行ってきます」

◇ 映像資料を見せてから、教材を読む。

② えりが早歩きですすんだのはどうしてでしょう。

- ・お姉ちゃんがよけて待っていて、悪いなあと思ったから
- ・早く行かないとお姉ちゃんが通れないから

◇ 体験的な活動を行う。

③ 「ありがとう」と言ったとき、えりはどんな気持ちになったでしょう。

言われたお姉ちゃんはどんな気持ちになったでしょう。（役割演技をする）

えり

- ・ドキドキしたけれど言えてよかった
- ・恥ずかしくて小さな声になったけれど、お姉ちゃんに聞こえてほっとした
- ・お姉ちゃんが「どういたしまして」と答えてくれてうれしくなった

お姉ちゃん

- ・よけてあげてよかった
- ・お礼を言われて気持ちいいな あいさつできてえらいね

④ 寒い日なのに、心も体も温かくなったのはどうしてでしょう。

- ・自分からお礼が言えていい気持ちになったから
- ・お礼を言ったらお姉ちゃんも返事をしてくれてうれしくなったから

◇ 自分の生活を振り返る。

⑤ 自分からあいさつをして、気持ちよくなったことがありますか。

- ・朝、教室に入って「おはよう」と言ったら、友達も「おはよう」って言ってくれてうれしかったよ

◇ GTから話（子どもから挨拶されてうれしかったエピソード）を聞く。

（保護者からの手紙でもよい）

3 指導上の留意点及び工夫

- ・範読の時、映像資料の映像を静止画像として活用することができる。
- ・範読の前に困った顔のえりが笑顔になった理由を考えながら聞くよう促してもよい。
- ・③の役割演技では、まず教師がお姉ちゃん役をしてモデルを示すとよい。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校低学年）「7 雪道」

8 A案

資料名：ばあちゃんの岩のり

主題名：家族愛

内容項目：C（13）家族愛，家庭生活の充実

- 1 **ねらい** 父母、祖父母が自分の成長を願い無私の愛情で育ててくれていることに気付くことから敬愛の念を育て、自身も積極的に家族の役に立とうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 映像資料を見て資料への興味付けをする。

- ① 岩のりというのりを採っています。どんな感想を持ちましたか。
- ・ちょっとずつしか採れなくて大変そう
 - ・寒そう
 - ・食べてみたい
 - ・波がそこまできていて危ない

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② さとしはどうしてじっとまっていられなくなったのでしょうか。
- ・岩のり採りが危険だと知っておばあちゃんが心配になったから
 - ・自分が食べたいと言ったせいでおばあちゃんが海へ行ったので心配で様子を見に行こうと思ったから
- ③ おばあちゃんの手をぎゅっと握った時、さとしはどんな気持ちでしたか。
- ・おばあちゃんが無事で良かった
 - ・寒い中、僕のために岩のりを採ってきてくれてありがとう
- ④ 岩のりの味噌汁がいつもよりおいしく感じたのはなぜでしょう。
- ・岩のりはおばあちゃんが苦労して採ってきてくれたものだとわかったから
 - ・おばあちゃんがさとしのために採ってきてくれた岩のりだから
 - ・おばあちゃんのさとしへの気持ちがこもっている岩のりだから
 - ・おばあちゃんが無事で安心したから

◇ 自分たちの生活を振り返る。

- ⑤ 日頃お世話になっている家族のために自分がやったお手伝いはありますか。
- ・お母さんためにお皿を洗った
 - ・自分のことは自分でするようにした

3 指導上の留意点及び工夫

- ・児童の家庭環境などを配慮しながら発問をする。
- ・③では祖母の自分に対する深い愛情への気づきがあることを押さえる。
- ・④では家族のために自分ができていることを考えることによって家族の一員として役に立つ喜びについて感じさせる。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「8 ばあちゃんの 岩のり」

8 B案

資料名：ばあちゃんの岩のり

主題名：家族愛

内容項目：C（13）家族愛，家庭生活の充実

- 1 **ねらい** 父母、祖父母が自分の成長を願い無私の愛情で育ててくれていることに気付くことから敬愛の念を育て、自身も積極的に家族の役に立とうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 岩のりの味噌汁を味わい、資料への興味付けをする。

- ① 岩のりの味噌汁を飲んで、どんな感想を持ちましたか。

・おいしい ・初めて食べた ・貴重な岩のりなんだなあ

◇ 映像資料で岩のり採りへの理解を促してから、教材を読み話し合う。

- ② 岩のりを採るのは寒くて危ないのに、どうしておばあちゃんは岩のりを採りに出かけたのでしょうか。

・さとしが岩のりを食べたいと言ったから ・さとしの喜ぶ顔が見たいから
・さとしに大きくなってほしいから ・さとしが大好きだから

- ③ さとしは岩のりの味噌汁を食べながら、どんなことを考えていたでしょう。

・おばあちゃんが苦労して採ってきてくれた岩のりだから大事に食べよう
・おばあちゃんの愛情がいっぱいつまった岩のりはおいしい
・僕もおばあちゃんのために何かしてあげたい
・おばあちゃんを手伝えることはあるかな

◇ 自分たちの生活を振り返る。

- ④ 家族のために頑張ろうと思うことはありますか。

・ご飯を作るときにお手伝いをする ・掃除のお手伝いをする
・自分のことは自分です

3 指導上の留意点及び工夫

- ・岩のりは採るのに苦労する貴重な食材であることを押さえた上で、実際に食する。
- ・②では祖母が危険を伴う岩のり採りをするのはさとしへの思いがあるからだということを押さえる。
- ・③では祖母の自分に対する深い愛情への気づきがあることを押さえる。
- ・④では家族がお互いに思いやることで家庭生活が良いものになることへの気づきを促す。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「8 ばあちゃんの 岩のり」

9 A案

教材名：みまもり隊

主題名：気持ちのよい挨拶

内容項目：B (8) 礼儀

1 ねらい 気持ちのよい挨拶，言葉遣い，動作などに心掛けて，明るく接する実践意欲を高める。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童生徒の反応）

◇教材への興味付けをする。

①どんなあいさつを知っていますか。

- ・おはようございます
- ・こんにちは、こんばんは
- ・おやすみなさい

◇教材を読んで話し合う。

②女の子は、見守り隊の人たちに「おはようございます」とあいさつした時、どんな気持ちになりますか。

- ・今日もがんばろうという気持ちになるよ
- ・大きな声で「おはよう」といってくれるから、元気が出てくるよ
- ・にこにこ笑顔で、返事をしてくれるからうれしいよ

③あいさつをするとき、どんなことに気をつけたらいいでしょう。

- ・大きな声で、その人を見ています
- ・立ち止まって、頭を下げています
- ・はっきりと聞こえるようにしています

◇見守り隊のG Tの話聞く。

◇体験的な活動を行う。

④自分で気をつけたあいさつと、気をつけないあいさつをしてみて、その時の気持ちを比べてみよう。また、あいさつをされた人は感じ方が違うかな。

- ・大きな声であいさつすると気持ちがすっきりするけど、小さな声だと暗い気持ちになるよ
- ・笑顔であいさつしてもらったら、うれしかったよ

◇今日の授業で考えたことや感じたことを伝え合う。

⑤今日の授業で、考えたことや感じたことを伝え合おう。

- ・これからは、相手の気持ちがよくなるあいさつがしたいな
- ・笑顔であいさつしてもらおうと、うれしい気持ちになるとわかったよ

3 指導上の留意点及び工夫

- ・校区の見守り隊の写真や映像を準備し、教材への興味付けを行うようにする。
- ・③では、なぜ、そうするのかと問い、気持ちの良い挨拶を実践する意欲を高めるようにする。
- ・G Tの話はインタビュー形式でもよい。あいさつや言葉かけで心がけていることを話してもらおうようにするとよい。
- ・道徳的行為に関する体験的学習を取り入れ、形だけではなく相手を思う心をとまなぐことの大切さを確認する。

9 B案

教材名：みまもり隊

主題名：感謝する心

内容項目：B (8) 感謝

1 ねらい 身近でお世話してくれる人々に対する尊敬と感謝の心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童生徒の反応）

◇教材への興味付けをする。

① これは何をしている人たちですか

- ・見守り隊の人たちです
- ・ぼくたちが交通事故にあわないように見守ってくれています
- ・わたしたちを不審者から守ってくれています
- ・ぼくたちにあいさつをしてくれます

◇教材を読んで話し合う。

②みんなは、見守り隊の人に会うと、どんな気持ちになりますか

- ・今日もがんばろうという気持ちになるよ
- ・うれしい気持ちになるよ
- ・元気が出てきて明るい気持ちになるよ
- ・朝早くから、ぼくたちを守ってくれてありがとうと思うよ

③女の子は、「元気ないね」と言われたとき、どんな気持ちになりましたか。

- ・どうして分かるのかなあ、すごいなあ
- ・きっといつも見ているんだ
- ・心配してくれてうれしいなあ、ありがとう

◇自分の生活を振り返る。

④みんなは、だれに、どんなお世話をしてもらっているかな

- ・おかあさんにご飯を作ってもらっているよ
- ・おとうさんに勉強を教えてもらっているよ
- ・おばあちゃんが、〇〇までむかえにきてくれるよ
- ・6年生のお兄さんお姉さんが給食のお世話をしてくれます。

◇お世話になっている人達にメッセージを書く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・校区の見守り隊の写真や映像を準備し、教材への興味付けを行うようにする。
- ・③では、子ども達の小さな変化も見逃さない見守り隊の存在に気付かせる。
- ・G Tを活用する際は、インタビュー形式でもよい。

教材名：ちいさないのち

主題名：いのちってすごい

内容項目：D（17）生命の尊さ

1 **ねらい** 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にしようとする心情を高める。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 問題意識を持つ。

① 自分の心臓の音を聞いてみましょう。

- ・どっくんどっくん、って聞こえる
- ・お母さんのおなかにいたときから動いている心臓、すごいなあ

◇ 教材を読んで話し合う。

② さとさんは、1 cm位の時から心臓ができていると知ってどう思ったでしょう。
(映像資料の赤ちゃんの写真とエコー写真を視聴する)

- ・こんなに小さい時から心臓ができ動いているなんて、すごいなあ
- ・こんなに小さくても、生きているんだな
- ・びっくりだ

③ さとさんは、お母さんからの手紙を読んで、どう思いましたか。

- ・お母さんが、私の命を守ってくれていたんだな
- ・お母さんも大切に覚えていてくれて嬉しい
- ・いのちって、こんなに小さいのに、どんどん大きくなっていくのがすごい
- ・いのちがお母さんに守られて、止まらずに動いて生まれてくるのがすごい

◇ 自分との関わりで考える。

④ 今、いのちがあるからこそできることって何でしょう。

- ・ごはんを食べること
- ・遊ぶこと
- ・勉強すること
- ・学校に来ること
- ・生きているからいろんなことができるんだ、生命を大切にしたいな

◇ 映像資料（インタビュー）を視聴する。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・おなかの中の赤ちゃんの心臓の小ささやたくましさを実感するために、直径1 cmの円の中に点（心臓の大きさ）を書いたり映像資料を視聴したりする活動を入れる。
- ・お母さんの感動から「いのちのすごさ」について一人一人に思いを持たせるとよい。
- ・展開後段では、P 27～28を見て、身の回りのいろいろな生き物の生命や成長について関心を持たせる展開も考えられる。
- ・終末は、「わたしたちの道徳」P 100～101（『手のひらを太陽に』）から、歌を歌ったり、音読したりすること、また家の人からの手紙を読むこと、GT（保護者や助産師さん）のお話を聞くことなどが考えられる。児童の実態に合わせて設定するとよい。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「10 ちいさな いのち」

10 B案

教材名：ちいさないのち

主題名：いのちってすごい

内容項目：D（17）生命の尊さ

1 **ねらい** 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にしようとする心情を高める。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 教材への興味関心を高める。

① 生まれる前の自分について知っていますか。

- ・お母さんから聞いたことがあるよ
- ・あまりよく分からないよ

◇ 教材を読んで話し合う。

② さとさんは、1 cm位の時から心臓ができていると知ってどう思ったでしょう。
（映像資料の赤ちゃんの写真とエコー写真を視聴する）

- ・こんなに小さい時から心臓ができて動いているなんて、すごいなあ
- ・こんなに小さくても、生きているんだな
- ・びっくりだ

③ お母さんの話（教材文や映像資料インタビュー）から、どうしていのちがすごいのか考えましょう。

- ・こんなに小さいのに、どんどん大きくなっていくのがすごいし、ふしぎだ
- ・お母さんが守ってくれたからだ
- ・おばあちゃんからずっとつながっているからすごい
- ・いろんな人が大事にしてくれるからすごい
- ・いのちはこんなにすごいものだから、大事なんだよ

◇ 自分との関わりで考える。

④ いのちを守り、つないできてくれた家族になんと言いたいですか。

- ・産んでくれてありがとう
- ・いのちを守りながら育ててくれてありがとう
- ・私も、自分のいのちを大事にするね
- ・私も、命をつなげていきたいな

◇ 絵本を読み聞かせる。

（命のつながりについてかかれた本 例『いのちのまつり』）

3 指導上の留意点及び工夫

- ・おなかの中の赤ちゃんの心臓の小ささやたくましさを実感するために、直径1 cmの円の中に点（心臓の大きさ）を書いたり映像資料を視聴したりする活動を入れる。
- ・展開後段では、P 27「たった一つの大切ないのち」を見て、身の回りのいろいろな生き物の命や成長について関心を持たせる展開も考えられる。
- ・終末は、家の人からの手紙を読むこと、G T（保護者や助産師さん）のお話を聞くことなどが考えられる。児童の実態に合わせて設定するとよい。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「10 ちいさな いのち」

11 A案

教材名：げんきのもと

主題名：健康な生活

内容項目：A (3) 節度, 節制

1 ねらい 健康に気を付け、わがまましないで規則正しい生活をしようとする心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 食べ物の好き嫌いについて考える。

- ① みんなの好きな食べ物と苦手な食べ物を教えてください。
- ・お肉は好きだけど、ピーマン、にんじんは苦手です

◇ 教材「げんきのもと」を読んで話し合う。

- ② ちひろが小さい声で「いただきます」と言った時、どんな気持ちだったのでしょうか。（映像資料を見て、ちひろの気持ちについて話し合う）
- ・ブロッコリーがいやだな
 - ・ブロッコリーは食べたくないな
 - ・きれいなブロッコリーが入っている・・・
- ③ ブロッコリーをつくるおじさんのお話を聞いて、ちひろはどう思ったでしょう。
- ・ブロッコリーは、太陽の光をいっぱいあびて元気に育つんだな
 - ・きれいなみどり色のブロッコリーには栄養がいっぱい入っているのかな
 - ・ブロッコリーには、元気のもとがたくさん入っているんだなあ
- ④ どうして、ちひろは、もう一度心の中で（いただきます）と言って、給食を食べ始めたのでしょうか。
- ・元気なブロッコリーを食べたら、自分も元気になると思ったから
 - ・ブロッコリーには栄養が詰まっていることが分かったから
 - ・元気のもとが入っているブロッコリーを食べたら、自分の元気のもとになると思ったから

◇ 自分の「げんきのもと」について考える。

- ⑤ 元気に過ごすために大切だと思うことはどんなことですか。
- ・好き嫌いをしないで何でも食べることです
 - ・よふかししないで、よくねることです
 - ・はみがきをていねいにすることです
 - ・せいけつに気をつけることです

◇ GTの話聞く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・④では、ちひろの気持ちを話してからブロッコリーを食べる役割演技を取り入れることも考えられる。
- ・④では、「ブロッコリー」や「げんきのもと」を食べなかったらどうなるのかといった補助発問も考えられる。
- ・終末では、GTの養護教諭による元気に過ごすための説話を聞くことで、健康な生活のために大切なことについて考えを深めるようにする。

4 参考教材

- ・映像資料集2（小学校低学年）「11 げんきのもと」

11 B案

教材名：げんきのもと

主題名：感謝の心

内容項目：B (7) 感謝

1 ねらい 食べ物に関わる人々に、感謝の気持ちをもとうとする心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ きらいな食べ物について考える。

- ① もし、きらいな食べ物が給食にでてきたらどうしますか。
・のこす ・がんばって食べる ・友達にあげる

◇ 教材「げんきのもと」を読んで話し合う。

- ② ちひろが小さい声で「いただきます」と言った時、どうして、ため息をついたのでしょうか。

- ・きらいなブロッコリーが入っていたから
- ・ブロッコリーは食べたくないなあと思ったから
- ・ブロッコリーが、苦手だから

- ③ おじさんの話を聞いた後、目の前のシチュエーションをあらためて見たとき、ちひろはどんなことを思ったのでしょうか。

（映像資料を見て、ブロッコリーを育てたおじさんについて話し合う）

- ・自分たちのためにおじさんは頑張ってブロッコリーを育ててくれているんだな
- ・おじさんが愛情を込めて作ってくれたブロッコリーだから食べよう
- ・おじさんが朝の4時に起きてとってきてくれたブロッコリーなんだ
- ・残したらもったいないなあ

◇ GTの調理員（栄養士）さんの話を聞く。

◇ 自分につなげて考える。

- ④ みんなは、これから食べる時、どんなことに気をつけますか。
・家で、ごはんを作ってくれる〇〇さん・□□さんのことを考えて、「ありがとう」の気持ちを持って、食べようと思います
・野菜を育てる農家の人や魚をとる漁師さんの気持ちを考えて、のこさず食べようと思います
・給食ができるまでに、お世話になっている人に感謝して食べたいです

3 指導上の留意点及び工夫

- ・③では、補助発問として「おじさんはどんな気持ちでブロッコリーを作っているのかな」と尋ね、誰のためにどんな思いで作っているかに着目させることで、ねらいとする道徳的価値にせまるようにする。
- ・GTの話では、献立や給食を作ってくれている人の思いに触れることで、自分たちが顔を合わせていない人にもお世話になっていることに気付くようにする。

4 参考教材

- ・映像資料集2（小学校低学年）「11 げんきのもと」

教材名：あさがお	
主題名：ちいさないのちを大切に	内容項目：D (18) 自然愛護

1 ねらい 身近な動植物に優しい心で接していこうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 花や野菜を育てた経験を発表する。

- ① 今までに、どんな花や野菜を育てたことがありますか。
- ・朝顔 ・ひまわり ・トマト ・さつまいも

◇ 教材を読んで話し合う。（映像資料を活用しながら教材を読んでいく）

- ② 朝顔に見とれている千代は、どんなことを思いましたか。
- ・なんてきれいな の ・たくさん花が咲いたわ
 - ・一日でこんなにつるが伸びていてすごい
- ③ 朝顔のつるが井戸のつるべにからみついているのを見て、千代はどんなことを思いましたか。
- ・水がくめない ・こんなところまでつるがからまってしまって
 - ・つるがじゃまだわ、そっとはずそうかな
- ④ どうして千代は朝顔のつるをはずすのをやめたのですか。
（水が汲めなくて困るのに、どうしてそこまでして朝顔を大事にしたいの？）
- ・一生懸命に咲いているから、かわいそうになった
 - ・つるをはずすと枯れてしまうと思った
 - ・きれいなので、このまま咲かせてあげたいと思った

◇ 自分の生活を振り返る。

- ⑤ 千代のような気持ちで、花や野菜の世話をしたり、育てたりしたことがありますか。
- ・1年生のとき、朝顔を育てたけど毎日お水をあげたよ
 - ・教室の花が枯れないように花瓶のお水を忘れずに取り替えているよ

◇ 教師の説話（身近な動植物に優しい心で接した内容）を聞く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・④では、水が汲めずに困る千代が、どうしてそこまでして朝顔を大事にしたいと思ったのか、さらに切り返すことで深く考えるようにしていくこともできる。
- ・終末で、「わたしたちの道徳」(P102～103)の「生きものにやさしく」を活用したり、学校の周りや通学路等で、教師自身が見付けた（感じ入った）動植物についての写真を提示して語ったりしてもよい。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校低学年）「12 あさがお」

12 B案

教材名：あさがお	
主題名：感動する心	内容項目：D（19）感動，畏敬の念

1 ねらい 美しい物や清らかなものに素直に感動する心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 美しい生花を見せ、教材への興味・関心を高める。

◇ 教材を読んで話し合う。

① 千代のお話を聞いて、「すてきななあ」「じーん」と感じたところはどこですか。
(千代の行動)

- ・千代が朝顔のつるをはずさなかったところがやさしくてすてき
- ・千代が朝顔のことをよく考えているところ

*朝顔の美しさについて意見が出なかった場合は、「どうして千代は、つるを外さなかったのでしょうか」または「朝顔をすてきなあと感じたことはありますか」と問う。

(朝顔の様子)

- ・朝顔が朝日を浴びて輝いてきれいなところ
- ・朝顔がたくさん咲いているところ
- ・朝顔がつるに巻き付いてまで頑張って咲いているところ

◇ 自分の生活について振り返る。

② 千代が朝顔を見て感じたように、あなたも何かを見て「きれいだな、すてきな。」と「じーん」としたことはありますか。

- ・ひまわりが咲いていてきれいだった
- ・学校の帰り道に、大きな虹を見たよ
- ・きらきら光る石を見つけたことがあるよ

◇ 映像資料（高学年「あの気持ち」）を視聴し、感動した気持ちを交流する。

③ 「すてきななあ」と感じたところはどこでしたか。

- ・星空がきれいだった
- ・ピンク色のあぜのきらめきを見てみたい
- ・雲の上を歩いてみたくなったよ

3 指導上の留意点及び工夫

- ・③の映像資料は、②で児童のイメージが湧かないときに視聴させてもよい。
- ・③の後には、教師自身が感動した身近な植物や風景などを写真で紹介したり、絵本を読み聞かせたりして余韻を残す工夫をしたい。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校低学年）「12 あさがお」
- ・映像資料集2（小学校高学年）「15 あの気持ち」

13 A案

資料名：デカとぼく

主題名：動物を大事にする心

内容項目：D (18) 自然愛護

1 **ねらい** 身近な動植物に優しい心で接していこうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ デカの映像資料を見て、教材に関心を持つ。

① カバのデカを見て、どんなことを思いましたか。

- ・すごく大きいなあ
- ・もう天国へ行ってしまったんだね。会いたかったな
- ・やさしそうだけど、大きな口を開けていてびっくりしたよ

◇ 教材を読んで話し合う。

② 坂牧さんは飼育員になってけがをした時、どんなことを思ったでしょう。

- ・デカのお世話は難しいな
- ・デカと仲良くするにはどうしたらいいのかな

③ デカが顔をなめてくれるようになった時、坂牧さんはどんな気持ちだったでしょう。

- ・やっとデカと仲良しになれた。うれしいな
- ・ぼくはデカが大好きだし、デカもぼくのことを好きなんだな
- ・デカのお世話をできてよかったな

④ ペープサートで、デカになってお話ししてみよう。

- ・坂牧さん、いつもお世話をしてくれてありがとう
- ・お口のお掃除をしてくれて、いい気持ちだよ。うれしいな
- ・坂牧さんのこと、大好きだよ。仲良くしようね

◇ 自分の生活を振り返る。

⑤ みなさんも、動物や植物のことを考えて世話をしたことがありますか。

- ・家で育てているアサガオに「大きくなってね」と言いながらお水をあげたよ

◇ 学校や学級で育てている動物について書いた児童の作文を読む。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・動物の飼育や植物を育てる体験をさせてから実践するとよい。
- ・終末では、BGMを流しながら、これまで児童が育ててきた生き物やその世話をしている児童の姿を写真で提示し、余韻を残して終わるのもよい。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「13 デカと ぼく」
- ・いしかわ動物園 <http://www.ishikawazoo.jp/>

13 B案

資料名：デカとぼく

主題名：動物を大事にする心

内容項目：D (18) 自然愛護

1 **ねらい** 身近な動植物に優しい心で接していこうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 動物園などに行った経験を話し合う。

① 動物園や水族館に行ったことがありますか。

- ・動物園に何回も行ったことがあるよ
- ・ふれあいコーナーでウサギを抱いたらかわかったよ

◇ 映像資料でデカと坂牧さんの紹介をしたあと、教材を読んで話し合う。

② けがをして坂牧さんはどんなことを思ったでしょう。

- ・デカのお世話は難しいな
- ・デカの気持ちを考えていなかったよ。ごめんね
- ・あせったらだめだな

◇ 役割演技（ペープサート）を通してデカの気持ちを考える。

③ 口の掃除をしてもらっているとき、デカはどんな気持ちでしょう。

- ・口の掃除をしてくれて気持ちいいな
- ・やさしくお掃除してくれるから、かまないよ
- ・坂牧さんがだいすきだよ。ありがとう

④ 坂牧さんがデカと家族のように仲良くなれたのはどうしてでしょう。

- ・デカのペースに合わせて世話をしたから
- ・デカのしてほしいことを考えて世話をしたから
- ・やさしい気持ちで世話をしたから

◇ 映像資料（坂牧さんのインタビュー）を見たあと、今日の授業で感じたことや考えたことを書く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・デカを知らない児童や坂牧さんのインタビュー内容が難しく感じる児童もいると思われるので、教師が解説をするとよい。
- ・「わたしたちの道徳」P104～109「シロクマ ピース」や「虫が大すき」を終末や授業後に紹介したり、本教材と併せて複数時間の展開を考えたりすることもできる。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「13 デカと ぼく」
- ・いしかわ動物園 <http://www.ishikawazoo.jp/>

14 A案

教材名：しぜんとなかよし	
主題名：郷土の自然に親しむ	内容項目：D (18) 自然愛護

1 **ねらい** 郷土の自然の豊かさに気付き、自然や動植物に親しもうとする心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

- ◇ 映像資料を活用しながら白山を紹介し、興味を持たせる。
（白山の様子について、映像資料を時々止めながら紹介する）
- ① 白山についてどんなことを思いましたか。
・とっても高い山なんだ ・お花も咲いていてきれいなところ
・登ってみたいな
- ◇ 教材を読んで話し合う。
- ② 2時間ほど登って休んだとき、私はどう思いましたか。
・疲れたな ・足が痛い ・雲がかかって景色が見えなくて残念
- ③ 足元の花を見つけたとき、私はどう思いましたか。
・登っているときは気が付かなかった ・きれいな花だな ・疲れがとれるな
- ④ 雲が晴れてきて山が見えてきたとき、どんな気持ちで「ヤッホー」と言ったのでしょうか。
・気持ちがいい ・山びこが聞こえるかな ・なんてきれいな景色
- ⑤ お父さんの話を聞いて、私はどんな気持ちでもう一度大きな声で「ヤッホー」とさげんだのでしょうか。
・白山に住んでいる動物達に聞こえるかな ・返事をちょうだい
・こんにちは、遊びにきたよ なかよくしてね ・気持ちいいね
- ◇ 身のまわりの自然や動植物について考え、話し合う。
- ⑥ 山、海、川、公園など自然の中において、いいなあと感じたことや生き物となかよく出来たことはありますか。
・家の近くで蛍を見つけたよ
・蝉をつかまえたけど、逃がしてあげたよ
- ◇ GT（動植物に詳しい方）や自然や動植物に親しんだ教師の説話を聞く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・主人公に共感しながら、自分との関わりで考えていけるようにするとよい。
- ・④では、もう一度「ヤッホー」とさげんだ私の気持ちをワークシートの吹き出しに書くなど、多様な意見が出るように工夫する。
- ・地域（石川県）の自然に詳しいGTを招き、身近な動植物の話聞き、自然に対する理解を深め自然に関わろうとする意欲を高める。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「14 しぜんと なかよし」
- ・映像資料集2（小学校高学年）「15 あの気持ち」
- ・映像資料集2（中学校）「13 白山～深田久弥～」

14 B案

教材名：しぜんとなかよし

主題名：郷土の自然に親しむ

内容項目：D (18) 自然愛護

1 ねらい 郷土の自然の豊かさに気付き、自然や動植物に親しもうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 教材について関心を持たせる。

① みんなは、今までに山登りをしたことはありますか。

- ・まだ一回も登ったことはない
- ・あるよ
- ・白山に登ったよ

◇ 映像資料を活用しながら白山を紹介し、興味を持たせる。

（白山の様子について、映像資料を時々止めながら紹介する）

② 白山ってどんな所でしょうか。

- ・景色がよい
- ・高そう
- ・珍しい花がいろいろ咲いている所

◇ 教材を読んで話し合う。

③ 足元の花を見つけて、私はどんな気持ちになったでしょう。

- ・こんな所に花が咲いているなんてびっくり
- ・きれいな花だな
- ・元気が出た
- ・なんだか幸せ
- ・うれしい

④ 一回目のヤッホーと二回目のヤッホーはどんな感じでしょうか。やってみましょう。

（体験後）違いはありましたか。

（一回目）

- ・気持ちいいなあ
- ・山びこが返ってくるかな

（二回目）

- ・わたしは、ここだよ 顔を見たいよ
- ・山の動物たち、私の声が聞こえているかな
- ・こんにちは、仲良くしようね

◇ 自分の生活を振り返る。

⑤ 自然の中で、楽しく過ごしたり、生き物と仲良くできたりした経験はありますか。

- ・山でテントを張ってキャンプをしたよ
- ・おばあちゃんと山菜取りをしたよ
- ・ザリガニ釣りの後、ちゃんと逃がしてあげたよ

◇ 地域の自然を感じる場所やそこに関わる人々の写真を見て、身近な自然や動植物に親しむ気持ちを高める。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・④では「ヤッホー」と呼びかける体験をさせ、自然やそこに生きる動植物に主人公が親しもうとしている気持ちに気づかせたい。
- ・終末は、子供達が動植物の世話をしたり、親しんだりしているときの写真を提示する工夫なども考えられる。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「14 しぜんとなかよし」
- ・白山ベストガイド（財団法人白山観光協会） <http://www.kagahakusan.jp/>

資料名：これってなにかな？

主題名：美しいものを感じる心

内容項目：D（19）感動，畏敬の念

1 ねらい 身近な自然の美しさに触れ、素直に感動する心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 雪の風景を見て興味関心を高める。

① 雪の風景を見てどう思いましたか。

- ・真っ白できれいだな
- ・こんなきれいなところに行ってみたいな

◇ 映像資料を見て話し合う。

② 雪の結晶を見てどう思いましたか。

- ・きれいだなと思った
- ・きれいな形がどんどんできて行って、ふしぎだった
- ・きらきらしていて、いいなと思った
- ・同じ形のものがなくてすごいな

◇ 中谷宇吉郎博士の紹介を聞く。

③ 天からどんな手紙が送られてきたと思いますか。

- ・雪はきれいですよ
- ・空は寒いですよ
- ・全部違う形ですよ
- ・みんなも見て下さい

◇ 「わたしたちの道徳」（P110～115）の「すがすがしい心で」を活用し、美しいと感じたり、不思議だなと思ったりしたことを書く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・映像資料を用い、難しい言葉には解説を加えながら、中谷博士について説明するとよい。
- ・③では、「雪は天から送られた手紙である」という中谷博士の言葉について紹介するとともに、様々な雪の結晶を見せて同じものがいないことに気付かせ、自然の神秘や美しさに気付かせる。
- ・自分の心の内にある感動や心情は言葉によって表現させることで、より確かなものになるので、一人一人の感動や心情の高まりを交流させるとよい。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校低学年）「15 これって なにかな？」
- ・中谷宇吉郎雪の科学館 http://kagashi-ss.co.jp/yuki-mus/yuki_home/

資料名：これってなにかな？

主題名：美しいものを感じる心

内容項目：D (19) 感動, 畏敬の念

1 ねらい 身近な自然の美しさに触れ、素直に感動する心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 身のまわりのきれいなものについて話し合う。

① きれいだなと思うものにどんなものがありますか。

- ・虹 ・花 ・星
- ・きらきら光るもの

◇ 映像資料を見て話し合う。

② 雪の結晶を見てどう思いましたか。

- ・きれいだなと思った ・同じ形のものがないってすごいな
- ・きれいな形がどんどんできていって、ふしぎだった
- ・きらきらしていて、いいなと思った

◇ 他の美しい写真を見て話し合う。

③ 美しいものや風景を見てどう思いましたか。

- ・とてもきれいで、いい気持ちになった
- ・色がきれいで、ずっと見ていたい気持ちになった
- ・見ていたらやさしい気持ちになって、心がすうっとした
- ・こんなにきれいなものがたくさんあるとわかってびっくりした

◇ 美しいものを見た経験を話し合う。

④ 美しいものを見て、感動したことがありますか。

- ・夏休みにキャンプに行ったら、夜の星空がきれいだった
- ・夕日がきれいなオレンジ色で、ずっと眺めていたよ
- ・海を見ていたら、すごくきれいだった
- ・空を見たらにじが出ていて、うれしくなったよ

◇ ③で見た写真の中から一番気に入ったものを選び、家庭に持ち帰って家族に見せながら感動を伝え、家族にも感想を書いてもらう。（事後）

3 指導上の留意点及び工夫

- ・映像資料を用い、難しい言葉には解説を加えながら、中谷博士について説明するとよい。
- ・③では、BGMをかけ、しっとりとした雰囲気の中で美しい映像や写真をスライドショーで見せる。
- ・家庭への協力を学級通信等で依頼するとともに、家庭から戻ってきた感想を紹介し、連携を図るとよい。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校低学年）「15 これって なにかな？」
- ・中谷宇吉郎雪の科学館 http://kagashi-ss.co.jp/yuki-mus/yuki_home/

教材名：ささずしづくり	
主題名：家族を愛するところ	内容項目：C（13）家族愛，家庭生活の充実

- 1 **ねらい** 父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立とうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 問題意識を持つ。

- ① 家族と一緒に過ごして楽しかったことはどんなことですか。
 ・一緒に遊んでいるとき楽しいよ ・みんなでご飯を食べるのも楽しい

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② ささずしを知っていますか。（映像資料を視聴し手順を知る。）
 ・売っているのを見たことあるけど、おうちでもつくることができるんだね
 ・葉っぱでお寿司をくるむんだ ・みんなで作るのが楽しそう
- ③ 笹の葉を1枚1枚丁寧に洗いながら、ともみはどんなことを考えたでしょう。
 ・洗うのは大変 ・作るのが楽しみだな ・きれいに洗おう
- ④ お母さんに「ともみが手伝ってくれてほんとうに助かるわ」と言われて、ともみはどんな気持ちになったでしょう。
 ・喜んでくれて嬉しいな ・一緒に作って楽しかった ・他にもしてあげたいな
- ⑤ おばあちゃんが、「今年のおすしはきっとおいしいよ」といったのはなぜでしょう。
 ・家族みんなで作ったからだ ・ともみを手伝ってくれたからだ
 ・一人一人みんなの気持ちがこもっているから ・ともみと同じ気持ちだな

◇ 自分との関わりで考える。

- ⑥ 家族のために何かして、喜んでもらったことはありますか。
 ・肩もみをしたことがあるよ、気持ちがいいと喜んでくれてうれしかった
 ・茶わん洗いをして、助かったよとほめられたので、やって良かったと思った

◇ 教師の説話を聞く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・②で、笹寿司を作ったことのない児童にも分かるように、映像資料を見る際は手順を写真で提示したり、（半）具体物などを使用して体験させたりしてもよい。
- ・③で、笹藪の画像を見せ、1枚1枚つんで洗う大変さを感じられるようにする。
- ・④で役割演技を取り入れ、ともみの心情に迫る。
- ・家族みんなで笹寿司を作っている場面絵を活用し、家族の温かさやつながりについて気付かせる。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校低学年）「16 ささずしづくり」

教材名：ささずしづくり

主題名：家族を愛するところ

内容項目：C (13) 家族愛，家庭生活の充実

- 1 **ねらい** 父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立とうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 問題意識を持つ。

- ① ささずしを知っていますか。（映像資料を視聴し手順を知る）
- ・売っているのを見たことあるけど、おうちでもつくることができるんだね
 - ・葉っぱでお寿司をくるむんだ
 - ・みんなで作るのが楽しそう

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② お話の中で、家族っていいなと思ったところがありますか。それはなぜですか。
- ・みんなで協力しているところがいいなあ、だって仲よしだから
 - ・笹のことやおすしの作り方を教えてもらえているところがいいなあ、だって教えてもらいながら一緒にやると楽しいから
 - ・ともみができることを手伝っているのがいいなあ、だって家族のためにしているから
- ③ 「今年のおすしはきつとおいしいよ」と頭をなでられたとき、ともみはどんな気持ちだったでしょう。
- ・手伝って良かったな
 - ・みんなで作れて楽しかった
 - ・嬉しい、また来年もしたいな
 - ・たくさん教えてくれてありがとう
 - ・家族みんなの思いがこもったおすしができたよ

◇ 自分との関わりで考える。

- ④ 家族のために何かして、喜んでもらったことはありますか。
- ・肩もみをしたことがあるよ、気持ちがいいと喜んでくれてうれしかった
 - ・茶わん洗いをして、助かったよとほめられたので、やって良かったと思った

◇ 家族からのメッセージを読む。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①で、笹寿司を作ったことのない児童にも分かるように、映像教材を見る際は手順を写真で提示したり、（半）具体物などを使用して体験させたりしてもよい。
- ・③で役割演技を取り入れ、ともみの心情に迫る。
- ・家族みんなで笹寿司を作っている場面絵を活用し、家族の温かさやつながりについて気付かせる。
- ・終末は、「わたしたちの道徳」P139やP142～143に予め家族からのメッセージを書いてもらったものを読むことで実践意欲を高める。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校低学年）「16 ささずしづくり」

教材名：兼六園の草とり名人	
主題名：みんなのために働く	内容項目：C（12） 勤労，公共の精神

1 ねらい 働くことよさを知り、みんなのために働こうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 問題意識を持つ。

① 係や当番の仕事にはどんなものがあるでしょう。

- ・当番は、朝の会や終わりの会をしているよ
- ・黒板 ・配達 ・健康調べ ・予定 ・クラスに必要な仕事が係の仕事だよ

◇ 教材を読んで話し合う。

② あすかはどんな気持ちで、草取りをしていたのでしょうか。

- ・トマトやキュウリのために草取りしよう ・きれいになると嬉しいな
- ・一生懸命してきたけど、誰も気付いてくれないから損した気分だよ

③ お客さんに目立たないように、いつもていねいに草取りしているおばあちゃん達を見てあすかはどんなことを考えましたか。（兼六園や作業の様子を映像資料で確かめる。）

- ・兼六園がきれいなのは、こんな風にお仕事してくれているからなんだ
- ・今まで気付かなかったけれど、たくさんの方が兼六園をきれいにしてきているんだな
- ・褒められなくてもがんばっていてすごいな、兼六園が大好きなんだね

④ あすかは、どうして自分たちの花壇のことを思い出したのでしょうか。

- ・草取り名人がお世話しているきれいな兼六園を見て、場所は違うけれど自分も同じ草取りをしていることを思い出したから
- ・同じ草取りだけど、名人と自分とでは気持ちが違うと感じたから
- ・誰からも褒められなくても、自分が草取りをすることで、おいしい野菜が育つことが嬉しいのだということに気付いたから

◇ 自分との関わりで考える。

⑤ 自分がみんなのために働いているときはどんな気持ちですか。

- ・予定係で、後ろの黒板に書いた予定をみんなが書いているとき、書いて良かったとか、きれいに書こうとか、早く書かなければと思うよ
- ・配達係は大変だけど、配り忘れたとき、みんなが困っているのを見てちゃんとやらないといけないと思ったよ

◇ 教師の説話を聞く。（みんなのために仕事を頑張っている児童を紹介しても良い）

3 指導上の留意点及び工夫

- ・③で、兼六園では、草取り名人が目立たないところで丁寧な手入れをするというかげの働きをしていることを押さえる。
- ・③で、どうして草取り名人は目立たないように仕事をしているのかを問い、働く意義について考えさせるとよい。

4 参考資料 ・映像資料集（小学校低学年）「17 兼六園の 草とり名人」

教材名：兼六園の草とり名人	
主題名：みんなのために働く	内容項目：C（12）勤労，公共の精神

1 ねらい 働くことよさを知り、みんなのために働こうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 問題意識を持つ。

① 家や学校でどんな仕事をしていますか。

- ・当番
- ・係の仕事
- ・給食当番
- ・家では色々なお手伝いをしているよ

◇ 教材を読んで話し合う。

② あすかが、草取りがそんだと思ったのはなぜでしょう。

- ・誰も気付いてくれないし、ほめてもくれないから
- ・とってもとって、すぐに草がはえてきてきりが無いから
- ・自分ばかりが草取りをしていて、いやになってしまったから

③ あすかと兼六園の草取りをするおばあちゃん、似ているところと違うところはどんなところでしょうか。（映像資料を視聴する）

似ているところ ・一生懸命に草取りをしてきれいにしているところ

- ・みんなのためにきれいにしたいという気持ち

違うところ ・あすかは誰かに気付いてほしいと思っている

- ・おばあちゃんは、逆に、気付かれないように目立たないように草取りをしている

④ おばあちゃんの言葉を聞いたあすかは、クラスの花だんのことを思い出して、どんなことを考えているのかな。

- ・クラスの花だんも、自分たちのじまんになるようにしたい
- ・自分の仕事をほめてもらえなくても、すてきな花だんになったら嬉しい
- ・クラスの花だんのために自分もがんばって仕事をしたい

◇ 自分との関わりで考える。

⑤ みんなのために働いたことや、気付かれないようなところでみんなのために仕事をしている人を見たことはありませんか

- ・黒板の下が汚れていたとき、〇〇さんがきれいにしていて、すごいと思った
- ・係の仕事で、配達物があつたらすぐに配るようにしているよ

◇ 「わたしたちの道徳」P130～133を読む。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・③ではあすかの不満や疑問と、人の役に立つことのやりがいや喜びが対応するように、構造的に板書する。
- ・④では、最後のおばあちゃんの言葉を教師がなりきって読み聞かせ、あすかの気持ちに浸らせたい。また「おばあちゃんが嬉しいのはどんなことか」と問うことで、働くことのやりがいや喜びに気付かせることも考えられる。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「17 兼六園の 草とり名人」

資料名：ぼくもいつかは……

主題名：郷土の文化に親しむ

内容項目：C(15) 伝統と文化の尊重、
国や郷土を愛する態度

1 ねらい 郷土に伝わる伝統文化や生活に親しもうとする心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 映像資料を見て「御陣乗太鼓」について知る。

- ① 輪島市の名舟地区に伝わる「御陣乗太鼓」を知っていますか。
- ・知らないな どんなものなのかな
 - ・テレビやポスターで見たことがある お面をつけて太鼓をたたくよ
 - ・映像を見ると、すごい迫力だ

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 名舟の人たちは、どうして御陣乗太鼓を大切に伝えてきたのでしょうか。
- ・ほかのところにはない、はく力のある太鼓だから
 - ・お父さんもおじいちゃんもみんな大切にしてきたから
 - ・昔からずっと伝えてきたものだから
 - ・みんなが楽しみにしているから
- ③ お祭りの日に、太鼓をたたくお父さんをじっと見つめながら、どんなことを考えていたのでしょうか。「ぼくもいつかは……」の後の言葉を考えてみましょう。
- ・お父さんみたいに、大きな音を出して、迫力のある太鼓をたたきたい
 - ・上手になって、みんなに喜んでもらえる太鼓がたたきたい
 - ・子供たちに太鼓を教えて、御陣乗太鼓を大切に伝えていきたい
- ④ 「すごいなあ。頑張りたいなあ。」と感じる地域のお祭りや行事はありますか。
- ・ぼくの地域にもキリコ祭りがあるよ 太鼓の練習をがんばっている
 - ・獅子舞と踊りをがんばっているよ しっかり覚えて、ぼくも伝えていきたい

◇ GTの話聞き、今日の授業で感じたことや考えたことを道徳ノートに書く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・導入では、御陣乗太鼓の写真や映像資料を提示し、昔から大切に伝えられてきたものであることを押さえる。
- ・GTには、地域のお祭りや行事でお世話をしている人や、子供達を指導している方をお迎えし、地域の活動に参加する理由や意味、どんなことを大切に活動しているかを話していただくようにする。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「18 ぼくも いつかは……」
- ・輪島ナビ <http://wajimanavi.lg.jp/www/index.jsp/>

資料名：ぼくもいつかは……

主題名：くじけず、しっかり

内容項目：A(5) 希望と勇気、
努力と強い意志

1 ねらい 自分のやるべき勉強や仕事をしっかり行おうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 映像資料を見て「御陣乗太鼓」について知る。

- ① 輪島市の名舟地区に伝わる「御陣乗太鼓」を知っていますか。
- ・知らないな どんなものなのかな
 - ・テレビやポスターで見たことがある お面をつけて太鼓をたたくよ。
 - ・映像を見ると、すごい迫力だ

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 小学校に入ってやっと太鼓をたたけたけんじは、どんな気持ちだったのだろう。
- ・うれしいな うまくたたけるように練習をがんばるぞ

- ③ 何度も注意されたり、手や足や背中が痛くなったりしても、「やめたい。」と言わなかったのはなぜでしょう。

- ・やめるといったら、しかられるから
- ・練習は大変だけど、太鼓がうまくなりたいたいから
- ・ぼくもいつかは、お父さんのようになりたいから

- ④ くじけずに、しっかりがんばると、どんないいことがあるのでしょうか。

- ・しっかりがんばるとどんどん上手になる
- ・できなかったこともできるようになる
- ・自分の心も強くなる

- ⑤ しっかりがんばっていることや、がんばって良かったことはありますか。

- ・ぼくの地域にもキリコ祭りがあるよ 太鼓の練習をがんばっているよ
- ・踊りをがんばっているよ はじめはできなかったけど、先生にほめられたよ
- ・九九の練習が大変でやめたいけど、がんばっておぼえたい

◇ 教師の説話を聞き、今日の授業で感じたことや考えたことを書く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・導入では、御陣乗太鼓の写真や映像資料を提示し、昔から大切に伝えられてきたものであることを押さえる。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「18 ぼくも いつかは……」
- ・輪島ナビ <http://wajimanavi.lg.jp/www/index.jsp/>

教材名：わたしのまちのたからもの	
主題名：地域のたからもの	内容項目：C (15) 伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度

- 1 **ねらい** 郷土の自然や文化に触れ、人々とのふれあいを通して、郷土の伝統や文化を大切にするとともに郷土を愛する心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ **実物や映像資料等を視聴し、教材に対する興味関心を高める。**

- ① これは何か知っていますか（沢野ごぼうや地域の特産物の実物を示す。）

・ 沢野ごぼうだ ・ ごぼうだけど、大きいな ・ ○○だ、この地域のものだよ

◇ **教材を読んで話し合う。（映像資料でごぼうを抜くときの様子を視聴する）**

- ② 田中のじいちゃんがごぼうを掘っているとき、「わたし」はどんなことを考えていたでしょう

・ 嬉しいな ・ おいしい煮物が食べられそうで嬉しい
・ 大変そうだな ・ どうしてこんなに深く掘るのかな

- ③ 田中のじいちゃんの話聞いて、「わたし」はどんなことを思ったでしょう。

・ ふつうのごぼうより太くて長いなんて初めて知ったよ
・ 七尾の沢野でしか作れないなんて、とっても特別なごぼうなんだ

- ④ 「わたし」は、どんな気持ちで、ごぼうをそうっと抱きかかえたのでしょうか。

・ 田中のじいちゃん、ありがとう
・ 宝物みたいに思えてきたよ、大切に持って帰ろう
・ 苦労して作っているすごいごぼうだったんだな、知らなかった
・ 沢野ごぼうのすごさを、お母さんに教えあげよう

◇ **自分との関わりで考える。**

- ⑤ 沢野ごぼうのように、自分たちの地域で昔から伝わっている「たからもの」にはどんなものがあるでしょう。

・ ○○まつりで棒振りをした ・ ○○太鼓を叩いたことがある
・ （特産物）を食べている

◇ **教師の説話を聞く。**

3 指導上の留意点及び工夫

- ・ 映像資料の沢野ごぼうを停止で見せながら、教材を読み聞かせる。
- ・ ③で、ごぼうを抜くときの様子を再度視聴し、なぜこのような大変思いをしてまで、沢野ごぼうを作っているのかを問いかけ、「沢野ごぼう」の価値に触れる。
- ・ ⑤では、児童が見つけた「たからもの」を羅列するだけでなく、児童自身にどのような気持ちで関わったことがあるのか、経験やその時の気持ちも交流できるようにする。

4 参考資料

- ・ 映像資料集2（小学校低学年）「19 わたしの まちの たからもの」

教材名：わたしのまちのたからもの	
主題名：地域のたからもの	内容項目：C (15) 伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度

- 1 **ねらい** 郷土の自然や文化に触れ、人々とのふれあいを通して、郷土の伝統や文化を大切にするとともに郷土を愛する心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをG Tと示す）

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）
<p>◇ 問題意識を持つ。</p> <p>① わたしたちの町に、昔からあるものにはどんなものがあるかな</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活科で勉強したね ・〇〇祭りがあるよ ・△△という食べ物があるよ <p>◇ 教材を読んで話し合う。（映像資料でごぼうを抜くときの様子を視聴する）</p> <p>② 田中のじいちゃんは何で手間のかかる沢野ごぼうを作り続けているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ずっと沢野で作られ、食べてきたごぼうが大好きだから ・たくさんの人に食べてほしいと思っているから ・「沢野ごぼうがおいしい」と言ってくれる人がいるのが嬉しいから <p>③ 「わたし」は、どうしてごぼうを「たからもの」だと思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田中のじいちゃんが、一生懸命作ってくれたから ・田中のじいちゃんが、途中で折れないように、丁寧に抜いてくれたから ・全国から買いに来るくらいすごくおいしいごぼうだから ・昔からずっと作られているから ・すごく苦勞して作られているから ・自分たちの地域でしか作られていない特別なごぼうだから <p>◇ 自分との関わりで考える。</p> <p>④ 沢野ごぼうのように昔から伝わっている「たからもの」を大切にしていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇まつりがたからもの、棒振りをがんばって練習しているよ <p>◇ 郷土の特産物の生産や伝統文化に携わるG Tの話を聞く。</p>

3 指導上の留意点及び工夫

- ・映像資料の沢野ごぼうを停止で見せながら、教材を読み聞かせる。
- ・②では、ごぼうそのものだけでなく、郷土の食べ物を大切にしてきた沢野ごぼうに携わってきた人々の思いに気付かせる。
- ・③では「たからもの」の意味を確かめ、どろだらけのごぼうがどうして「たからもの」なのか、イメージを膨らませて考えさせるとよい。
- ・③では、②で出てきたじいちゃんの思いと関係付けながら、それらを大切にしようとする気持ちに気付かせる。
- ・終末では、G Tを迎えて郷土に対する思いに直に触れることで、郷土に主体的に関わることの大切さに気付かせる。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校低学年）「19 わたしの まちの たからもの」

資料名：ほっと石川	
主題名：大好きなふるさと	内容項目：C (15) 伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度

1 **ねらい** 我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもとうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 教材の写真やカルタを基に石川県に対する興味を高める。

- ① 写真やカルタで紹介されている場所で、行ってみたいところがありますか。
- ・ 千里浜に行きたいです。千里浜をドライブしたり、水遊びをしたりしたいです
 - ・ 千枚田に行きたいです。何枚あるか、数えてみたいです

◇ 写真を見て自分が住んでいる町について話し合う。

- ② これはどこでしょう。
- ・ ○○公園です。いつも遊んでいます。○○の木がとても大きくて有名です
 - ・ ○○神社です。お祭りの時にみんなで御神輿を見に行きました

- ③ 町の中にみんなに紹介したい好きな場所や行事はありますか。
それはなぜですか。

- ・ ○○公園です。有名な○○の木をみんなに紹介したいです
- ・ ○○海岸です。泳いだりキャンプしたりしてみんなが楽しめるからです

◇ 自分が住む町のよさをカルタで表す。

- ④ みんなが住んでいる町の良いところを紹介するカルタを作りましょう。
- ・ 「○○公園」 とっても大きい○○の木がまっているよ
 - ・ 「○○海岸」 海の水がきもちいいよ。あそびの「たからじま」みただよ

◇ 発表して振り返りを書く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・ 石川県の名勝地から児童の身近な大切な場所へと関連付けていく。
- ・ 身近な場所の写真を多く準備しておき、④の活動で利用する。
- ・ ④ではカルタにこだわらず、自分たちの住む町に親しみを持つことができるような活動を工夫すると良い。

4 参考資料

- ・ 映像資料集（小学校低学年）「14 しぜんとなかよし」、
「17 兼六園の草とり名人」
- ・ 映像資料集2（小学校高学年）「15 あの気持ち」
- ・ 映像資料集2（中学校）「13 白山～深田久弥～」

20 B案

資料名：ほっと石川	
主題名：大好きなふるさと	内容項目：C (15) 伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度

1 ねらい 我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもとうとする心情を育てる

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）
<p>◇ 教材の写真を見て石川県に対する興味を高める。</p> <p>① これはすべて石川県にあるものです。知っているものはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・兼六園は行ったことがあります・テレビで見たことがあります <p>◇ 写真を見て話し合う。（写真をいくつか付け足す）</p> <p>② これらは石川県の人が大切にしているものです。どうしてだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・自然がたくさんあるから・たくさん人が見に来てくれるから・他の場所にないから・楽しい場所だから <p>③ みんなが住んでいる町にも大切にしている「場所」や「行事」や「もの」がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・お祭りにはたくさん人が見に来ます・〇〇は町の有名な物です・この町にも自然がたくさんあります <p>④ どうして大切にしているのだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・この町にしかないから・この町のシンボルだから・自然がなくなると困るから・お祭りがなくなると寂しいから <p>◇ 身近な地域の写真のスライドを見て振り返りを書く。</p>

3 指導上の留意点及び工夫

- ・②では行事や特産品の写真を加え、「もの」や「こと」もふるさとを表すものであることを意識させる。
- ・③では地域の写真を準備しておき、思考の助けとなるようにする。
- ・スライドを作成する場合には、地域の人や児童が入った写真を準備し、地域を守っているのは人であることを意識させられるとよい。

4 参考資料

- ・映像資料集（小学校低学年）「14 しぜんと なかよし」「17 兼六園の 草とり名人」
- ・映像資料集2（小学校高学年）「15 あの気持ち」
- ・映像資料集2（中学校）「13 白山～深田久弥～」